

第12回全国和牛能力共進会に向けて

第12回 全国和牛能力共進会
和牛フェス in 島根 2022
～10つ!と驚く美味さが14つ!と驚まった和牛の魅力を鹿児島から～



集畜指導会の様子 (仁多中央家畜集会所)

第12回全国和牛能力共進会(全共)が10月に鹿児島県で開催されます。和牛改良の成果やその優秀性を競う5年に1度の大会で、「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。

この大会に参加するための島根県最終選抜会に、奥出雲町から延べ16頭の出品が決定しました。第2区(若雌の1)で1頭、第3区(若雌の2)で3頭、第5区(高等登録群)で3頭、第6区(総合評価群・種牛群)で6頭、第6区(総合評価群・肉牛群)で3頭です。

現在、県の代表牛を目指し、島根県最終選抜会を勝ち抜くため、月2回仁多中央家畜集会所に出品牛が集まり、調教並びに飼養管理や栄養調整について指導を行い、関係者が一丸となり、全共に向けて日々の改良の成果を発揮すべく準備に取り組んでいます。

「奥出雲和牛」の産地名が全国に轟くよう、鹿児島県での優秀な成績を目指して全力で取り組んで参りますので、皆様の応援をよろしくお願い致します。

【お問い合わせ】 農林振興課
有線 31-5286
電話 54-2513

第37回全国選抜 ゲートボール大会激励式

第37回全国選抜ゲートボール大会の激励式が6月14日、仁多庁舎であり、奥出雲町から出場するチームどんぐりから4名が出席しました。

チームどんぐりは、令和3年10月に雲ドルムで開催された島根県予選で優勝し、女子クラスでは県内唯一となる全国大会への出場を決めていました。



写真:(左から)藤原靖子選手、高橋栄子選手、教育長、町長、三澤富士子選手、森合弘子選手

激励式では、チームを代表して高橋栄子さんが「この機会はなかなかないと思いますので、楽しくプレーして帰りたいと思っています。と抱負を語りました。」

大会の結果

全国大会は、6月18日から19日にかけて山梨県甲府市で開催され、女子クラスは全国から40チームが参加しました。

チームどんぐりは、4チームで行われるチームリーグ戦で1位となり、トーナメント戦に進出しました。ベスト10チームによるトーナメント戦では、初戦は長崎県と対戦して勝利しました。2回戦は広島県と対戦し、惜しくも敗退しました。

災害ボランティアセンター 協定調印式

災害ボランティアセンター協定の調印式が6月14日、仁多庁舎であり、奥出雲町社会福祉協議会と奥出雲町が協定を結びました。

協定により災害発生時に、奥出雲町と奥出雲町社会福祉協議会が相互に連携してセンターを設置し、ボランティア活動を行う団体や個人を受け入れることで、被災者に対する迅速かつ効率的な支援活動の実施が可能となります。

奥出雲町社会福祉協議会の山本勝昭会長は「防災および取り組みの強化拡充に向け町民の機運を高め、実行力のある体制を構築してまいります。」と協定の意義を述べました。



写真(左から)町長、山本勝昭会長

仁多郡遺族連合会が 奥出雲町専属の遺族相談員の 配置要望を決定

仁多郡遺族連合会(石原道夫会長、会員508名)の役員会が5月28日、カルチャープラザ仁多で開催されました。

役員会では、特に奥出雲町専属の遺族相談員1名の配置を要望することが決まりました。

遺族相談員は、戦没者遺族の各種年金や給付金等の相談に応じ、福祉の増進を図ることを目的とした制度で、厚生労働省の委嘱を受けて配置されます。

現在、厚生労働省から島根県に19名の定員が割り当てられています。奥出雲町専属の相談員の配置はなく、雲南市の担当者があわせて引き受けています。このため、担当面積が広いことなどから、相談の難しさが指摘されており、奥出雲町専属の遺族相談員の配置を県の遺族連合会に要望することになりました。

特旨叙位(従六位)及び 特別叙勲(旭日双光章) 故 岩田明人さん(布勢)

岩田さんは、仁多町議会議員を平成11年5月から2期5年11月、奥出雲町議会議員を平成17年5月から4期16年にわたり務められ、奥出雲町議会において、総務文教常任委員会委員長、産業建設常任委員会委員長等を、平成27年5月からは奥出雲町議会議長を約4年間歴任されました。

豊かで潤いのある町を築くため、道路網の整備、農業基盤の整備、教育・福祉・医療施設の整備など、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献されました。

これらをはじめとする多数の功績により、この度叙位及び叙勲の栄に浴されました。

農業遺産

奥出雲町農業遺産推進協議会が6月27日、カルチャープラザ仁多で開催されました。

会議では、日本農業遺産の保全計画の取り組み状況や、国連食糧農業機関に昨年10月に申請した世界農業遺産の進捗状況について報告があり、その後、意見交換が行われました。

協議会のアドバイザーを務め、土壌学が専門の島根大学の松本真悟教授は、仁多の基礎である土づくりの科学的な根拠を更に明らかにし、後世への継承に取り組むことで、世界農業遺産の登録をバックアップできると考えている、と述べました。



奥出雲町農業遺産推進協議会について

認定を受けている日本農業遺産、および認定を目指す世界農業遺産の推進のため、農林業関係者や行政などの関係団体により2016年に設立され、毎年会議が開かれています。

横田ライオンズクラブが 横断手旗を寄贈

横田ライオンズクラブ環境保全・公衆安全委員会の大谷誠二委員長(写真左)より、横田地域交通安全協会に対し、6月9日、横断手旗100本が手渡されました。

横田地域(鳥上、横田、八川、馬木の4地区で構成)の子どもたちの安全確保を願って寄贈されたもので、小学生の通学時などに活用されます。



昭和47年7月洪水流域合同パネル展

～発生から50年 47年水害をご存じですか?～

斐伊川流域に未曾有の被害をもたらした昭和47年7月洪水から今年で50年が経過しました。

当時の被害の記憶を忘れることなく、今後の斐伊川水系河川整備計画の推進と大橋川改修の必要性を、改めて認識していただくことを目的として、流域自治体が合同で災害写真のパネル展示を行います。



水没した国鉄(現JR)松江駅正面



水没した駅前通り(松江市朝日町)

期間 7月19日(火)～8月15日(月)
午前8時30分～午後5時15分
(土日祝祭日等の開庁日は除く)
場所 役場仁多庁舎1階タウンホール

【お問い合わせ】 まちづくり産業課 有線31-5261 電話54-2524